

災害時の心得

文：じんラボスタッフ

施設血液透析（CHD）、腹膜透析（PD）、在宅血液透析（HHD）それぞれの透析を受けている患者さんの、災害発生時の対応を簡単にまとめました。

より詳しい離脱方法や対応に関しては「透析患者災害対策マニュアル」[☞](#)で確認しましょう。

施設血液透析（CHD）を受けている患者さんの場合

腹膜透析（PD）を受けている患者さんの場合

在宅血液透析（HHD）を受けている患者さんの場合

施設血液透析（CHD）を受けている患者さんの場合

災害発生時

揺れは大きくても十数秒で必ず収まりますので、施設の指示に従って落ち着いて行動しましょう。穿刺針が抜けないう血液回路をしっかり握って、布団や毛布をかぶって落下物から身を守り、ベッド柵につかまりましょう。

避難する時

透析を中止するには回路からの離脱が必要です。緊急離脱セットの使用方法など、平常時にかかりつけの透析施設に確認しておきましょう。履物を履き、スタッフの誘導に従って避難しましょう。エレベーターは使用してはいけません。日ごろから非常口を確認しておきましょう。

避難した後

穿刺部の消毒や傷の手当てを受けましょう。次回の透析予定など、今後の対応について確認しましょう。

透析を受けていない時に災害を受けた場合

自分の身の安全は自分でしっかり守ることを念頭に、透析が必要であることを申し出て、施設との連絡を取って次回の透析の対応について確認し、薬・食事等に気をつけて自己管理を続けましょう。

透析を受けるための避難後の対応

かかりつけの透析施設、もしくは最寄りの保健所、災害時拠点病院に連絡を取り、自分の状況を伝え、今後の透析方法について確認します。他の施設へ移動して透析を行うこともありえるので、移動方法や集合場所を確認しましょう。災害時要援護者透析カードを常に携帯しておきましょう。

腹膜透析（PD）を受けている患者さんの場合

透析中に災害が起きた時

透析を中止して避難するなら、CAPDの場合、チューブを切断するか、透析液バッグとバッグ交換機を持って避難しましょう。APDの場合、適切な方法で回路を切断して避難しましょう。

透析を受けていない時に災害を受けた場合

自分の身の安全は自分でしっかり守ることを念頭に、安全な場所に避難し、透析患者であることを申し出ましょう。汚染した透析液が体内に入らないよう、腹膜カテーテルの破損や汚染には注意が必要です。薬・食事等に気をつけて自己管理を続けましょう。

透析を受けるための避難後の対応

透析場所や機材の被害状況を確認しましょう。避難所で腹膜透析患者であることを申し出ましょう。避難所で待機する場合、PDメーカーにわかるよう自宅玄関前に避難場所を掲示しましょう。かかりつけの透析施設、もしくは保健所、災害拠点病院、関連・協力施設に連絡して今後の対応を相談しましょう。PDメーカーにも連絡をとり、必要な物品の配送について相談しましょう。治療の際はきちんと消毒し、清潔を保ちましょう。

在宅血液透析（HHD）を受けている患者さんの場合

透析中に災害が起きた時

回路をしっかり握って外れないようにしましょう。HHD管理施設から教わった通りに、災害の種類に応じた対応を行いましょう。透析を中断する場合、返血するか血液回路を切るか判断をしましょう。安全な場所に避難し、止血・消毒をしましょう。

透析を受けていない時に災害を受けた場合

自分の身の安全は自分でしっかり守ることを念頭に、安全な場所に避難し、透析患者であることを申し出ましょう。

薬・食事等に気をつけて自己管理を続けましょう。

透析を受けるための避難後の対応

水質や装置が安全でないと在宅透析ができないので、HHD管理施設、もしくは保健所、災害時拠点病院、関連・協力施設などに連絡を取り、今後の対応を相談しましょう。

関連コンテンツ

いざという時に備えて知っておきたいこと

平常時の心得

災害時の薬・食事の管理

参考

- 東京都福祉保健局(2006年3月改訂版)『災害時における透析医療活動マニュアル』
- 東京都区部災害時透析医療ネットワーク(2010年8月)『透析患者災害対策マニュアル』